

「あらかわの心」ニュース



第7号 平成20年12月1日発行

〔発行〕「あらかわの心」推進運動区民委員会
 〔事務局〕〒116-8501 荒川区荒川 2-2-3 荒川区子育て支援部児童青少年課内 TEL 3802-3111 内線 3833 FAX 3802-0809
 〔メールアドレス〕 arakoko@city.arakawa.tokyo.jp 〔ホームページアドレス〕 http://www.arakawa-unet.jp/life/heart/index.html



「傘かしげ」



「こぶし腰浮かせ」

出典 「今、伝えたい、子育ての知恵」(伊達松風・越川禮子 著)

江戸しくさは

「江戸しくさ」は、江戸商人のリーダーたちが
 きずきあげた行動哲学です。

よき商人として、いかに生きるべきかという商人道で、人間関係を円滑にするための知恵でもありました。

「江戸しくさ」の代表的なものとして、後から来たひとのために、軽く腰をこぶし分だけ浮かせて空席をつくる「こぶし腰浮かせ」や、雨の日に互いの傘を外側に傾け、ぬれないようにすれ違う「傘かしげ」などがあります。

「江戸しくさ」と「あらかわの心」

これらの根底にあるのは互いに相手を思いやる心であり、「あらかわの心」推進運動である①「まず大人が行動する」、②「大人が子どもと一緒に行動する」、③「地域ぐるみで大人が子どもを見守り育てる」の3つの視点に基づき、「あいさつ」「きまり」「思いやり」「体験」「見守り」の心をつなぐ5つの取り組みと相通するものがあります。

まず大人が行動を

「江戸しくさ」や「あらかわの心」を伝えていくには、親や地域の大人たちが日々の暮らしの中で、他人への思いやりや助け合いの心を持つことが欠かせません。まず大人が良い手本を見せることにより、子どもに、そして地域に思いやりの輪を広げていきたいと思います。

「江戸しくさ」講演会を開催します

先人のすぐれた知恵である「江戸しくさ」を学び、地域づくりに生かしていただくことを目的に講演会を開催します。みなさまのご参加をお待ちしています。

「江戸しくさ」講演会



平成21年1月18日(日)
 午後2時～3時30分
 日暮里サニーホール

□講師
 NPO 法人江戸しくさ理事長
 越川禮子氏
 □演題
 「いきで素敵な江戸しくさ」

●申込み・問合せ
 児童青少年課青少年対策係
 電話 3802-3111 (内線 3833)

東京都から青少年育成協力者等感謝状をいただきました

10月7日(火)、東京都庁第一本庁舎五階大会議場において、平成20年度東京都青少年健全育成成功者等表彰式が開催され、「あらかわの心」推進運動区民委員会が、青少年育成協力団体として、青少年育成協力者等感謝状及び記念品を贈呈されました。

平成19年度に「おせっかいおじさん・おばさん運動」が心の東京革命推進モデルに決定し、今回の感謝状贈呈となりました。



▲感謝状



「おばあちゃんのおせっかい」編

★あらすじ★
 あらかわの街を一人元気に見守り続けるさつきおばあちゃん

猛スピードの自転車で駆け抜ける高校生やおしゃべりに夢中で周りの迷惑に気づかない若いおかあさん、たばこの吸殻を投げ捨てるサラリーマン、あいさつしても知らん顔の小学生

注意するおばあちゃんの様子を見ていた、近所に住む女性や世話焼きの男性、おばあちゃんの娘さんも加わって、話しをするうちに、おせっかいの大切さに気がついていく

おばあちゃんの願いが届きますように、「荒川家の朝ごはん」を「しあわせなら手をたたこう」のメロディーで歌う

このたび、「あらかわの心」推進運動区民委員会では、荒川区、荒川ケーブルテレビ株式会社のご協力により、「あらかわの心」推進運動PR寸劇のビデオ「おばあちゃんのおせっかい編」を製作しました。

今後、荒川ケーブルテレビで随時放映される予定ですが、併せてビデオの貸し出しも行うこととしました。「あらかわの心」推進運動の普及にぜひご活用ください。

●貸し出し申込み・問合せ 児童青少年課 内線3833

「あらかわの心」寸劇ビデオ収録

「あらかわの心」カルタ 好評発売中!

「あらかわの心」推進運動区民委員会では、楽しみながら「あらかわの心」推進運動の内容がわかる「あらかわの心」カルタを発売しています。



このカルタの読み札は、あいさつ(水色)・きまり(オレンジ)・思いやり(黄緑)・体験(ピンク)・見守り(黄色)の5つの取り組みを表現した内容になっており、文字の部分が5色に色分けされています。このため、まだ文字が読めない小さなお子さんもお兄さん、お姉さんと一緒に楽しむことができます。お正月だけではなく、いつでも楽しめるカルタとなっています。カルタ遊びを通じて親子で地域で「あらかわの心」推進運動に親んでください。



「あらかわの心」カルタはこんな遊び方もあるよ!

花の木学童クラブでは、「あらかわの心」カルタを小学1年生の音読や書き取りに利用しています。読み札の内容から、あいさつや礼儀についての言葉に接することができますので、子どもたちが基本的な生活習慣を身に付けるうえで大変役立っています。子どもたちは、カルタとして遊ぶだけでなく、教材として活用することで、「あらかわの心」推進運動の内容も深く理解することができています。



▲じょうずに書き取りできたかな



▲みんなでカルタを楽しんでいます

また、西尾久ふれあい館では、カルタの絵札が生活にあわせた親しみやすい絵なので、子どもたちが自分たちで絵にあわせて文章を考え、読み札にして遊んでいます。みなさんも「あらかわの心」カルタを使っていろいろな遊びを楽しんでみませんか?

「あらかわの心」カルタ「おぐろくのこころ」をはぐくむ

「あらかわの心」カルタの中で、「荒川は 笑顔とあいさつ にあう町」「私も あなたも ほこりを持った荒川の人」等々、読み札の3分の1は、尾久第六小学校の保護者の方の作品です。どれも力作ぞろいです。

その尾久第六小学校では、仲長し班集会で、子どもたちがハンカチ落としやフルーツバスケットとともに、「あらかわの心」カルタを楽しんでいます。

遊びを通じて、「あらかわの心」が引き継がれ、「おぐろくのこころ」が育まれることでしょう。

(尾久第六小学校)



▲学校掲示板でも紹介しています

尾久地区中学生の主張発表会

10月25日(土)、アクト21で「第26回尾久地区中学生の主張発表会」が開催されました。

尾久地区4校の中学校より男女1名、夜間学級より1名の合計9名が、体験したこと、感動したこと、社会情勢等の多岐にわたる内容を発表しましたが、どの発表者の視点にも熱く真摯な姿勢が感じられました。特に社会人でもある夜間学級の生徒の発表では、学級そのものが「学びたい」と強く思う人で構成されているため、学が喜びが語る言葉から溢れていました。発表者は、緊張の中にも大勢の人々の前で、自らの持てる力全てを出し切る貴重な体験をしました。それは、それぞれのテーマで心震わした時と同様に、一人ひとりの発表者の心に深く刻まれていくことでしょう。

(青少年対策尾久地区委員会 山崎)



▲各中学校の代表として発表しました



▲学が喜びを発表する夜間学級の生徒

自然まるかじり 体験塾

8月17日(日)〜19日(火)、千葉県鴨川市で「第22回自然まるかじり体験塾」が開催されました。

これは、荒川区の小学4年生、中学生の子どもたちが、千葉県鴨川市の農家にホームステイをし、農業体験や漁業体験をするもので、

今年は、41名の児童・生徒が参加しました。子どもたちは2〜5名のグループに分かれて、受入先の農家に宿泊し、収穫した野菜を農産物直売所に出荷する作業や稲刈りをして精米する作業などを体験しました。また、鴨川市漁業協同組合の協力で漁業体験も行い、イカの塩辛やさばのハンバーグを手作りしたほか、漁船にも乗ることができ、荒川区では経験できない、さまざまな内容に子どもたちはとても喜んでいました。



▲おいしいさばのハンバーグができたかな



▲初めて稲刈りをしたよ

(荒川区青少年対策地区委員会連絡協議会)